

事務事業名	しまねの元気な郷づくり事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
政策名	総合計画体系 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	農業生産グループ	課長名	高野 耕治
施策名	(33)農業の振興	担当者名	細田 和正	電話番号 (内線)	0854-40-1051 3703
基本事業名	(098)農業の6次産業化	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 310 015 215 711	事業	しまねの元気な郷づくり事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22年度~24年度)	過疎・高齢化の進行による生産力低下や担い手不足、農産物価格の低迷、食の安全・安心に係る消費者意識の変化など、農業を取り巻く厳しい情勢に対応するため、農林水産品の生産だけでなく、加工、販売、地域資源を活かした経営の多角化や地域づくり活動などの戦略的な取組により所得や雇用に拡大する取組に対して支援する。 【補助率:ソフト1/2以内 ハード1/3以内】	地域住民や農林業者、関係機関等が連携・協働し、地域が主体となって行う戦略的な取組により、所得や雇用に拡大し、産地や地域を牽引する新たなビジネスモデルの育成を支援することで、元気な農山漁村づくりを進めるため。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体 計画
(株)大東農産加工所 ◆ソフト事業 事業費750千円(うち県費375千円) ◆ハード事業 事業費19,950千円(うち県費6,650千円) (有)木村有機農園 ◆ソフト事業 事業費100千円(うち県費50千円)	国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計(A) 千円							
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計(B) 千円 トータルコスト(A)+(B) 千円							
①事業申請取りまとめ ②事業実施ヒアリング ③交付申請事務 ④補助金交付事務								

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 戦略立案・実践試行支援事業 (事業実施主体からの申請) 24年度計画(24年度に計画している主な活動) ①戦略立案・実践試行支援事業 (事業実施主体からの申請) ②施設・機械等導入支援事業 (事業実施主体からの申請)	⑤ 活動指標							
		ア 事業ヒアリング	回		3	5	4		
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	生産団体(農業法人、集落営農組織等)	⑥ 対象指標							
		ア 農家戸数	戸		5,587	5,128	5,128		
		イ							
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	事業実施主体の雇用	ア 雇用人数	人		2	6	8		
		イ							
		ウ							
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	農家所得の向上	ア 市内の農業所得総額	億円		▲ 3.4	▲ 2.3	▲ 2.6		
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
国、県ともに個別の農家を支援する事業はなくなり、認定農業者等の大型農家や地域が一体となって産地化を図る方向に向かっている。	新規事業のため特になし	平成20年3月に策定された「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」に位置づけられている目指すべき将来像、「産業としての自立する農林水産業」、「暮らしと結びついた農林水産業」、「活力ある元気な農山漁村」に向かうための期待度は大きい。

事務事業名	しまねの元気な郷づくり事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 雇用を創出することにより、生産・販売額の増加を目指しているため、農業の振興と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 地域住民や農林業者、関係機関等が連携・協働し、地域が主体となって行う戦略的で多彩な取組等を支援するために島根県が創設した事業であり、雲南市としても一体的に取り組む必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 自立できる経営体を育成するため、明確な目標のもとで構築された事業であり、対象・意図とも妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 生産者団体等による自主的な取り組みを支援する事業であり、成果は十分に上がっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 県単事業であり、雲南市として事業を廃止することはできず、事業申請があれば実施しなければならない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 他に類似する事業はなく、統廃合できない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 事業実施主体の適切な事業費であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 生産者団体等を育成していくための支援が必要であり、削減の余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 事業目的を明確にして募集されたものであり、受益機会は公平に確保されている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	雇用の増加と所得の向上を目指す事業であり、雲南市としても積極的に支援すべきである。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
継続して雇用できる体制づくりが必要になるため、生産、加工、販売を通して市もバックアップすることが必要である。																						